南三陸商工会全国展開事業プロジェクト事業
「クチバシカジカ」キャラクターデザイン及び愛称募集

南三陸町の海には、全国的にはとても珍しい「クチバシカジカ」が暮らしています。南三陸商工会では、クチバシカジカを南三陸町の貴重な地域資源のシンボルとしてデザイン化を進めており、次のとおりクチバシカジカキャラクターのデザインと愛称を募集しています。

なお、クチバシカジカについては、応募用紙でくわしく解説しているほか、「南三陸iねっと」公共端末の「画像・映像」から動画を見ることができます。

◇募集項目　キャラクターデザイン及び愛称（デザインまたは愛称のどちらか１つでも応募できます。）

◇応募方法　ハガキかファクシミリで１枚につき１点。デザインはＡ４サイズの用紙も可。

◇応募締切　12月25日（火）当日消印有効

◇採用作品　デザイン１点　愛称１点
（採用作品応募者には賞品等を贈呈。ただし愛称で同名応募複数の場合は抽選となります。）

◇発　表　町の広報紙等で発表

◇留意点　応募作品は未発表のもので、共同作品でないこと。採用作品のすべての権利は南三陸商工会に帰属します。またデザインを加工する場合があります。※この他は、応募用紙をご覧ください。

◇応募先　〒988-0453　南三陸町歌津字伊里前168-2
南三陸商工会　歌津支所　FAX36-3154

◇問い合わせ　南三陸商工会　歌津支所　☎36-2235

クチバシカジカ関連イベント

タクゾー博士の「海の生きもの教室」

クチバシカジカ研究の第一人者で自然環境活用センター研究員の阿部拓三さんが、南三陸のユニークな生きもの達を紹介します。

◇日時　12月９日（日）午前11時30分
◇場所　ベイサイドアリーナ文化交流ホール
（子どもたちの郷土芸能発表終了後）

さかなクンin南三陸

テレビ等でおなじみの「さかなクン」とタクゾー博士によるトークショー。クチバシカジカキャラクターデザイン・愛称募集などの発表・表彰式も予定しています。

◇日時　２月９日（土）午後４時
◇場所　ベイサイドアリーナ文化交流ホール

●みんなの掲示板●

手作りクリスマスリース・コンテスト2007

五日町商店街振興会が運営する多目的サロン「五日町夢プラザ」を会場に、「手作りクリスマスリース・コンテスト2007」を開催し、作品展示を行います。

町内在住であれば、子どもから大人まで無料で応募できます。また、作品はコンテスト終了後に返却します。

あなたのオリジナル作品で、参加しませんか？

【応募方法】

作品を「サトー園芸店」または「花の店あん」にお持ちください。申込書は各店舗にあります。

◇対象作品　手作りのオリジナルリース。材料（部品）は市販のものでかまいません。ただし、既製品は応募できません。

◇応募締切　12月12日（水）必着

【作品展示及びコンテスト】

◇日時　12月13日（木）～15日（土）、午前９時～午後７時

◇場所　多目的サロン「五日町夢プラザ」（㊢五日町）

◇審査発表　12月15日（土）午後５時

◇賞　グランプリ大賞１人（１万円商品券）、夢プラザ賞２人（小中学生の部１名、高校一般の部１名）、優秀賞２人（同）、その他協賛企業等各賞あり。

◇問い合わせ　サトー園芸店　☎46-2359
花の店あん　☎46-5106

平成19年度 南三陸町 ふるさとまちづくり・ひとづくり創出事業
第2回 先端情報講演会

サンライズクラブでは、地域の発展を目的に、先端情報講演会を開催しています。

今回は、大学進学・就職を含めた進路選択の幅を広げるための方法や基礎学力の重要性などをテーマにした講演です。

◇日時　12月13日（木）午後６時～７時
◇場所　南三陸町役場・大会議室
◇講演テーマ　「進路選択について」
◇講師　日本工学院専門学校・日本工学院八王子専門学校 広報部勤務　岡本幸子氏
◇入場　無料
◇問い合わせ　サンライズクラブ 代表 佐々木光之
☎46-6386

南ちゃん通りたのしいクリスマス

昨年に引き続き、南町通りでクリスマスのライトアップを行います。楽しいミニイベントもありますので、ご家族みなさんで遊びにきてください。

◇日時　12月８日（土）午後４時～６時
◇場所　南ちゃん通り（㊢南町）
◇問い合わせ　南町商店会たのしい実行委員会
代表 菅原勝則 ☎46-3104

庄内の風 ⑮

友好町の山形県庄内町を紹介する情報コーナー

庄内町出身の幕末の志士「清河八郎」

江戸時代の幕末に近藤勇、土方歳三などで有名な「新選組」結成のきっかけとなった「浪士組」を結成した人物が「清河八郎」です。

清河八郎は、天保元年（１８３０年）に庄内藩領清川村（現在の庄内町清川）に生まれ育ちました。18歳で江戸に上り学問に励み、さらに剣術でも北辰一刀流兵法免許を得る文武両道の英士でした。幕末の時代の中、尊王攘夷の思想のもと「浪士組」を結成し攘夷運動を画策しましたが、志半ばで幕府方に暗殺されてしまいます。浪士組から分かれた芹沢鴨、近藤勇などにより壬生浪士組が結成され、その後の新選組へと発展していきます。

▶清河八郎

庄内町清川には、清河八郎の没後70年にあたる昭和８年に文武両道の神として清河八郎を奉り創建された「清河神社」、八郎の生涯を伝える「清河八郎記念館」があります。

清河神社・清河八郎記念館
（庄内町清川字上川原37）
■交通／ＪＲ陸羽西線清川駅下車　徒歩10分

夢大使リレー通信 ⑯

各地で活躍する南三陸町夢大使の皆さんの声をお届けする「夢大使リレー通信」を連載しています。

今回は、テレビやラジオでおなじみの、タレント・声優の佐々木眞奈美さんです。

夢大使
佐々木眞奈美さん
（仙台市）

おすばで

今年も「おすばで祭り」のシーズンがやってきました！年の瀬12月29日（土）午前９時からだそうですね。すっかりおなじみになったこのお祭りは、毎年楽しみにしている方々も多く、師走の南三陸町の観光の目玉。

私も、「今年こそ！」と、毎年思いながら、なかなか行けないでおりました。ラジオで「おすばで祭り」のイベント案内をしながら、頭の中では「行けるか？行けないか？」と真剣に時間のやりくりを考えていたりするわけです。

さて、この「おすばで」ですが、藩政時代の伊達領で広く使われている「酒の肴」の意味だという事は皆様もご存知ですよね。語源が諸説あって、酒を呑みながらしばしば手にすることから来た「屡手」説。酒席で回しとって食べた大根の生干し「ほしばで（としばで）」から来た説。芝の生えた土手などで演じられた芝居の後、役者と客が打ち上げをした「芝居酒盛り」説。箸休め「しばはしばし」の略という説もあり、他に「州浜台」の訛り説（州浜台とは、州のある浜辺で出入りの多いところを「州浜」と言い、それを形どった台におめでたい景物をのせて宴席の際に飾り物にしたそうで、後に結婚式や正月などの席に魚を盛るようになった台のこと。）

皆さんがどの説を支持するかはおまかせしますが、昔の三陸に暮らす人々が人と人を繋ぐそういった酒席を大切に思い、また、「んめものを、かせだい（美味いものを食べさせたい）」と思うやさしい気持ちが込められているようでほのぼのと温かい言葉だなぁと思うのでした。

何はともあれ、歳を重ね新しいスタートを切る正月に「んめさげど、おすばでで こでぇらんね正月にしてぇもんだね。（美味しいお酒と肴で最高のお正月にしたいものですね）」

注（「おすばで」の語源については、三陸出版「けせんぬま方言アラカルト」を参考にさせていただきました。）